

PAT-NO: JP409154899A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 09154899 A
TITLE: BUDDHA IMAGE TYPE URN
PUBN-DATE: June 17, 1997

INVENTOR-INFORMATION:

NAME **COUNTRY**
NISHIZAWA, TAKETOSHI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME **COUNTRY**
KK TSURUKAMEYA N/A

APPL-NO: JP07344805
APPL-DATE: December 6, 1995

INT-CL (IPC): A61G017/08

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a Buddha image type urn having both of a function as an urn and a function as a container for a posthumous Buddhist name or the like, in addition to an inherent function as a Buddha image as a worship object.

SOLUTION: This urn includes a pedestal 1 and a Buddha image body 10, and an urn part 3 having an upper opening 2 as well as a pedestal part 4 is integrated with the pedestal 1. The Buddha image body 10 has a bottom lid 11 on the bottom, and is internally provided with a housing part 13 for housing a posthumous Buddhist name or the like from the rear opening 12 thereof. Ashes are housed in the urn part 3, and the opening 2 thereof is closed by coupling the bottom lid 11 of the Buddha image body 10 thereto. The posthumous Buddhist name and career of the deceased, the Buddhist Scripture or the like is housed in the housing part 13 of the Buddha image body 10, and the opening 12 of the housing part 13 is closed by coupling the lid 15 of a nimbus part 14 thereto. The urn so structured is housed in a household Buddhist altar or the like.

COPYRIGHT: (C)1997,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-154899

(43) 公開日 平成9年(1997)6月17日

(51) IntCl.⁶

A 6 1 G 17/08

識別記号

庁内整理番号

F I

A 6 1 G 17/08

技術表示箇所

C
E
J

審査請求 有 請求項の数 2 F D (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平7-344805

(22) 出願日 平成7年(1995)12月6日

(71) 出願人 395023602

株式会社鶴亀屋

神奈川県川崎市中原区新丸子町767番地

(72) 発明者 西沢 武利

神奈川県川崎市宮前区宮崎6-7-18

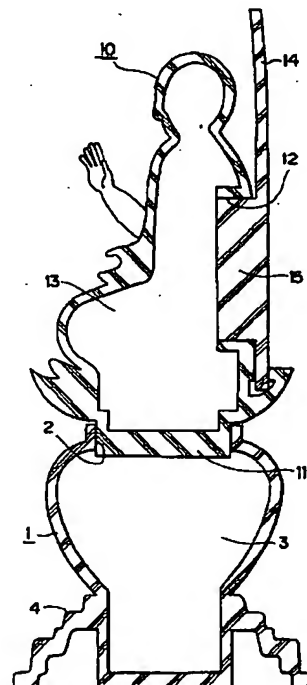
(74) 代理人 弁理士 笹沢 和夫

(54) 【発明の名称】 仏像型骨つぼ

(57) 【要約】

【課題】 礼拝対象としての仏像の本来の機能の外に、骨つぼの機能と戒名等の物入れの機能を併有した仏像型骨つぼを提供すること。

【解決手段】 台座1と仏像体10を含み、台座1は上面開口部2を有する納骨部3と台座部4を一体に有し、仏像体10は、その底部に底蓋部11を有するとともに、内部にはその背面開口部12より戒名等が納められる収納部13を有し、納骨部3に骨が納められてその開口部2が仏像体10の底蓋部11の嵌め込みによって閉蓋され、仏像体10の収納部13には戒名、経歴、教典等が納められてその開口部12が後背14の蓋部15の嵌め込みによって閉蓋され、この状態で仏壇等に納められる。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 上面開口部を有する納骨部が設けられた台座と、該台座の納骨開口部が閉蓋される底蓋部が設けられた仏像体とを含む構成を特徴とする仏像型骨つぼ。

【請求項2】 前記仏像体に戒名、経歴、教典等が納められる収納部が設けられるとともに、該収納部の背面側開口部が後背に突設の蓋部によって閉蓋される構成を特徴とする請求項1の仏像型骨つぼ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、礼拝対象としての仏像の本来の機能の外に、骨つぼの機能と戒名等の物入れ機能を併有した仏像型骨つぼに関するものである。

【0002】

【発明が解決しようとする課題】本発明者は、従来より一般的な骨つぼを仏壇や、床の間に置くには違和感があるが、台座上に座像または立像が設けられた仏像に骨つぼ機能を持たせれば、これを仏壇等に置いても違和感がないことに着目し、本発明を完成させたものである。したがって、本発明の目的は、礼拝対象としての仏像の本来の機能の外に、骨つぼの機能と戒名等を入れる物入れの機能とを併有した仏像型骨つぼを提供することにある。

【0003】

【課題を解決するための手段】この目的を達成するため、本発明は、上面開口部を有する納骨部が設けられた台座と、該台座の納骨開口部が閉蓋される底蓋部が設けられた仏像体とを含む構成を特徴とし、また、前記仏像体に戒名、経歴、教典等が納められる収納部が設けられるとともに、該収納部の背面側開口部が後背に突設の蓋部によって閉蓋される構成を特徴とするものである。

【0004】

【発明の実施の形態】発明の実施の形態について図面を参照して説明する。図1および図2に本発明に係る仏像型骨つぼの一例が示されている。これら図において、本骨つぼは、台座と仏像体を含み、これらは木製または陶磁器製等である。台座1は、上面開口部2を有するつぼ

2

形状または適宜形状の納骨部3と、該納骨部3と一体の台座部4を有し、仏像体10は、その底部に台座1における上面開口部2に嵌め込まれて該開口部2を閉蓋する底蓋部11を有するとともに、本体内部には、その背面側開口部12より戒名、経歴、教典等が納められる収納部13を有し、該収納部13の開口部12は、後背14に突設せられた蓋部15の嵌め込みによって閉蓋されるようになっている。なお、図示の仏像体10は、座像の場合であるが、立像であってもよいことは勿論である。

10 【0005】上記の構成に係る本骨つぼは、その台座1の納骨部3に骨が納められて開口部2が仏像体10の蓋部11の嵌め込みによって閉蓋され、仏像体10の収納部13には、戒名や経歴、教典等がおさめられてその開口部12が後背14の蓋部15の嵌め込みによって閉蓋され、この状態において仏壇等に納められる。

【0006】

【発明の効果】しかして、本仏像型骨つぼによれば、台座に納骨部が設けられ、該台座上に定置される仏像体には戒名等が納められる収納部が設けられているから、礼拝対象としての仏像の本来の機能の外に、骨つぼの機能と戒名等の物入れ機能を併有し、これを仏壇等に置いても違和感を感じないものである。

【図面の簡単な説明】

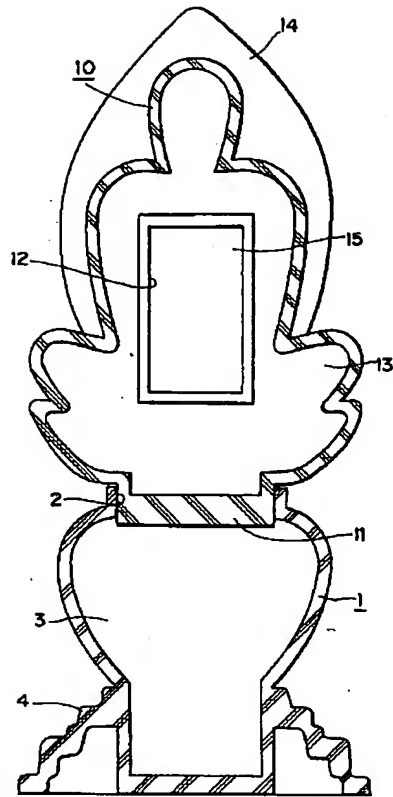
【図1】本発明に係る仏像型骨つぼの一例での縦断正面図である。

【図2】同上の縦断側面図である。

【符号の説明】

- 1 台座
- 2 上面開口部
- 3 納骨部
- 4 台座部
- 10 仏像体
- 11 底蓋部
- 12 背面側開口部
- 13 収納部
- 14 後背
- 15 蓋部

【図1】



【図2】

